ニホンマムシの遠軽町と紋別市の生息確認について

徳田 龍弘

ニホンマムシ（*Gloydius blomhoffii*）は道内に広く分布するが道北や道東の一部地域では生息の確定的な記録がなく，特に道内での北限は明確ではない．東方では知床半島ウトロ地方海岸地域においての確認例がある（1996，佐藤ほか）．有毒蛇であるニホンマムシの生息記録の蓄積は有意義であると考えるため，オホーツク地方２地域での生息記録を報告する．

遠軽町栄野にある湧別川ダム周辺では，2001年７月15日20時頃にダム湖面直近の砂利道を徘徊するニホンマムシの幼蛇を確認した（図１）．また2013年８月２日14時頃には瓦礫下からオスの成蛇を確認した（図２）．当該区域には，マムシの生息に注意を促す看板も設置されており，当地での生息は周辺住民にとっては既知のものである．

2013年に著者がインターネットを使用して道内のニホンマムシの生息について調べたところ，紋別市上渚滑町更生161にある上渚滑浄水場周辺で，ニホンマムシが捕獲されたテキストのみのニュース文を確認した（北海民友新聞，2009a）．確認のため，紋別民報社より当時の記事（北海民友新聞，2009b）を取り寄せ確認したところ，記事内の写真からニホンマムシの成蛇であることが確認できた．2013年８月２日に著者は紋別市に赴く機会があったため，当該地周辺での確認調査を行った．日中調査の結果，上渚滑簡易水道浄水場付近を流れる清瀬川の清瀬橋付近の蛇籠から複数の蛇の抜け殻を採集した（図３）．採集した蛇の抜け殻よりアオダイショウ（*Elaphe climacophora*），シマヘビ（*Elaphe*

図１　湧別川ダムで捕獲したニホンマムシ幼蛇

図２　湧別川ダムで捕獲したニホンマムシ成蛇雄

図３　清瀬川の蛇籠で採集したニホンマムシ以外のヘビの抜け殻

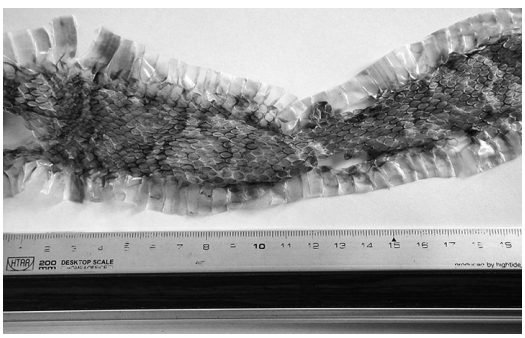

図４　ニホンマムシの抜け殻．腹板中央で切り開き広げた状態で撮影した

	状　態	拾得時の長さ	抜け殻のキールの状態	最多体鱗列数	両端の体鱗列数	斑　紋	同　定
A	千切れた胴の一部	100mm	有り・強い	21	19,21	明瞭な 5 円玉状斑	ニホンマムシ
B	千切れた胴の一部	380mm	有り・不鮮明	19	15,15	不鮮明な縦条	シマヘビ
C	千切れた胴の一部	360mm	なし	23	19,21	不鮮明な縦条	アオダイショウ
D	千切れた胴の一部	210mm	なし	17	14,17	不鮮明	胴の中央を確認できず , 不明
E	千切れた尾部	110mm	なし	7	3,7	なし	不明

表 1　採集したヘビの抜け殻の情報

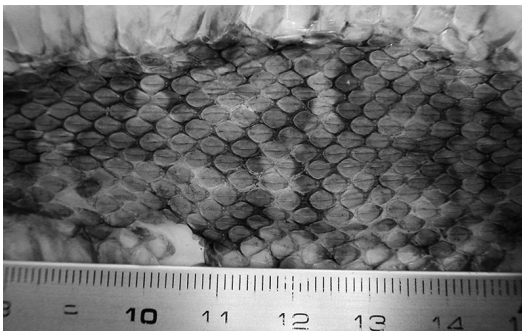

図 5　ニホンマムシの抜け殻．拡大すると明瞭なキールが確認できる

quadrivirgata），ニホンマムシの 3 種を確認することができた（表 1）．ニホンマムシの抜け殻は独特の斑紋や強いキールも認められた（図 4，図 5）．この確認で，オホーツク海側のニホンマムシの生息情報を追加することができた．今後もこのような確認報告がされ，より詳細なニホンマムシの生息に関する情報が集まることに期待したい．

引 用 文 献

佐藤孝則．1996．知床国立公園及びその周辺に生息する爬虫類の生息状況調査．自然トピア知床管理財団平成 6 年度（1994 年度）活動報告書．p51-62.

北海民友新聞．2009a．北海民友新聞のサイト「毒蛇のマムシを生け捕り～大西沢で菅原さんら 3 人」．〈http://www.minyu.ne.jp/inews3/webdir/1618.html〉．（2013 年 11 月 15 日アクセス）

北海民友新聞．2009b．『北海民友新聞』2009 年 8 月 29 日「毒蛇のマムシを生け捕り～大西沢で菅原さんら 3 人」．

（061-2303 北海道札幌市南区定山渓温泉西 2 丁目 45-1-306 ばいかだ WILD-PHOTO）

釧路市春採湖におけるカメ類の確認（2013）

照井 滋晴・前田潤

日本には 2 科 5 種 2 亜種の淡水産カメ類が自然分布している．しかし，北海道においては 1 種も自然分布していない．筆者らは釧路市の市街地に位置する春採湖において 2008 年から 2012 年の間に 2 種 5 個体のカメ類を捕獲したことを以前報告していた（照井・前田 2013）が，2013 年においても同湖において新たにカメ類を捕獲したため，以下に報告する．

カメ類は，釧路市に位置する国の天然記念物「春採湖ヒブナ生息地」に指定されている春採湖（北緯 42 度 58 分，東経 144 度 23 分）（図 1）の湖内において，特定外来生物ウチダザリガニの捕獲を行った際に混獲された．捕獲されたカメ類はクサガメ *Chinemys reevesii*，ミシシッピアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* の 2 種である（図 2，図 3）．各個体の捕獲日は以下のとおりである．また，各個体の外部計測結果は表 1 に示す通りである．